―患者様が抱く疑問とそれらに対する説明ポイント ―

（第 1 版）

患者さんはイーファスの施術を受ける時に、色々な疑問を持たれます。
安心して受けていただき、価値を感じていただくための参考にしてください。

患者さんの疑問① … 動作検査への WHY

「なぜ動作検査をするの…?」

↓

痛みには「体の使いグセ」が影響しています。

「使いグセ」が強くなると、全身の筋肉や関節の**連動性** や 筋肉と関節の**相関性**が悪くなり、身体重心を不安定にしてしまいます。

重心の不安定は、筋肉や関節をこわばらせ、血行や自律神経の働きを悪くする結果、治癒力本来の働きを阻害してしまいます。

元々「体の使いグセ」は、普段の**「動き」や「姿勢」の中で悪くなっていく**ので、
レントゲン検査や MRI 検査のような静止した検査画像では見逃されてしまっています。
しっかりと分析するためには、**動作検査が必要**なのです。

「使いグセ」によって、全身の連動性や相関性に**現われる悪いパターン**は、**1,944,000 通り**もあり、動作検査では、一見症状に関係のなさそうな動きを検査しますが、3 次元の動きを丁寧に検査することによって、**患者さんに全身調整をする最適な施術ポイントを特定しています。**

患者さんには、
「あなたが**早期に良くなっていただくために、最適な施術ポイントを探す上でとても必要**なのです。」と伝えてあげてください。

患者さんの疑問② … 対象筋への WHY

「なぜ意外な筋肉を施術するの…?」「痛いところはそこじゃないのに…?」

↓

特に**症状の辛い患者さんは、痛みの感じる部分に意識をフォーカス**しています。
「痛い箇所をどうにかしてほしい」と思っておられるので、症状以外のところに施術すると、不安になられることがありますので、対象筋画面を見せて説明してあげてください。

1.**症状には「局所的な問題」と「全身的な問題」が必ず影響しています。**
痛みの感じている部分には局所的な問題がありますが、ほとんどのケースで、**全身的な協調性の悪さも影響して**、症状が現れています。

症状が感じていないのに表示されている部位は、「全身の問題」として、協調性(連動 ： つながり)の悪くなっている所です。

それらが**身体重心を不安定**にさせ、**筋緊張を高め**、**血行を悪くして**いるので、**治癒力を低下させている**のです。

患者さんには、
「特に全身的な問題は、見逃されやすく、症状が長引いたり、こじれたりしている原因になっているので、意外な部分も施術しますが、とても重要なのです。」と伝えてあげてください。

2.**痛みは結果であって、本当の原因は隠れている場合がある**ので、本当の原因は隠れていることが多いのです。

患者さんには、
「一般的に、**体の調子が悪くなっても、すぐには症状として現れず、**その部分は**「庇う」ということで、体が自然に調整しています。**症状は直前までに頑張っていた部分であることが多く、本当の原因は隠れていて、意外な部分であることが多いのです。」と伝えてあげてください。

アスリート機能（ストレッチ・テーピング）について

↓

一般的なストレッチは、**ウォーミングアップ**を目的にしていたり、**症状別に選出**したりしているので、
体の状態によって「合う」「合わない」がありますが、イーファスでは、動作検査を基に、根本的な連動障害（原因）を改善させるためのストレッチやテーピングの場所を選出しています。

選出されるテーピングも、傷めた関節の固定目的ではなく、テーピングの伸縮性に対する体のリアクションを利用して、体自体のバランスや重心を整える力を高めています。

いずれも**体のアンバランスを改善する目的で選出されており**、**施術効果の向上や安定**に高い効果があります。

バランスの調整が目的なので、片方だけが選出されることがありますが、選出されていない側もされるときは、選出しされている側を多く行ってください。

また、一般的な運動や体操と組み合わせても問題ありません。

以上